

# 令和5年度 総括 事業報告・決算報告

## 1. 事業報告概要

### 法人本部

#### 1. 年度方針・理念等

～ありのままのあなたと いつも向き合い、支え合い のぞみに向かって わを広げ～  
住みよい環境づくりを進めます

#### 2. 重点課題

- ・法人の中期経営計画(ガバナンス強化、業務効率化、採用・育成強化等)実現に向けた取組推進
- ・法人WLB推進ビジョン～最高の職場環境が、最高の利用者サービスへ～実現のための取組推進
- ・採用活動の強化、法人の魅力発信のための広報活動強化等、採用に直結する取り組みの検討
- ・ICT活用や業務見直しによる標準化・効率化及び働き方改革の推進

#### 3. 総評

平成6年2月に認可された当法人は、本年度を以って設立30周年を迎えます。現在、特別委員会を設置し、次年度開催予定の式典行事や記念誌発行等の準備を進めておりますが、法人が新たな一歩を踏み出す契機に、これまで法人を支えてくださったすべての方々に感謝してまいりたいと思います。

法人組織においては、理事長の統括を受け、ガバナンス再構築のために会議体の在り方や事業部・委員会体制の見直しを行いました。また、ハラスメント根絶に向け、法人独自の「ハラスメント防止ハンドブック」の改定や相談窓口の再周知、職層ごとの研修実施等の防止策を進めました。

一方、法人本部事務局においては、関連する法律および通達に従い、内外業務の実務処理を行うと共に、法改正等に伴う諸規定の変更を実施しました。また、引き続き、法人本部と足立あかしあ園・綾瀬あかしあ園・舎人あかしあ園・あいのわ支援C・大谷田障がい福祉施設との事務体制一体化を実施すると共に、法人内のサーバーや電話機等、OA機器の入替えを行いました。

### 足立あかしあ園

#### 1. 年度方針・理念等

～人を大切にし、利用者と共に成長する施設づくりを行います～  
将来に向けた今できる取り組みの実現

#### 2. 重点課題

- ・職員間の連携強化・コミュニケーションの活性化及び互いを援け合える職場づくりの推進
- ・利用者の視点を捉えた質の高いサービス提供
- ・利用者出席率3%向上
- ・職員が体現できる組織の目標・方向性・考え方の理解浸透

#### 3. 総評

本年度は利用者個々のニーズに応じた個別支援計画を基本に、それぞれの状況や立場に寄り添った情報提供を行い、自己選択・自己決定の実践と一人ひとりがやりがいを感じられる支援を行いました。

行事については、利用者が準備段階から参画する機会を設け、充実感を得られるよう実施しました。また、職員が互いを理解して、利用者の支援に向き合えるよう職員のコミュニケーション活性化に取り組みました。

施設業務全般では組織体制や報連相等、ガバナンスの在り方を見直すと共に、業務のスリム化や標準化・効率化等を実施しました。また、職員が施設の目標や価値観に基づいた自発的・能動的な行動ができるよう職員の役割を明確化し、ボトムアップの機会を設けるよう進めました。出席率はマイナス3.1%と減少傾向にありますが、次年度も個別の状況に合わせた出席率向上の取組みを行ってまいります。

## 綾瀬あかしあ園

### 1. 年度方針・理念等

～みんなでほっといっしょにいきいきと～

安心・信頼を大切に 共に考え学び お互いの自己実現を目指します

### 2. 重点課題

- ・利用者自身や生活環境の変化を捉えた支援の強化と事故減少の取組み
- ・職員の業務整理・標準化を進めながら、サービス提供をスムーズに行うための体制・環境整備
- ・カフェ「ふおらん」の運営の活性と利用者の新たな参加の促進
- ・地域の一員としての役割を担い、地域共生の取組みの推進

### 3. 総評

個別支援計画に基づいたサービス提供を実施すると共に、生活環境の変化に備えて関係機関や家族との情報共有に努めました。また、福祉サービス第三者評価の受審結果や利用者・家族からの意見を踏まえた取り組みの強化や改善策の検討を進めました。

重点課題に挙げた事故減少の取り組みにおいては、行政機関に報告が必要な事故等はありませんでしたが、繰り返し起きてしまった事故や服薬に関する内容もみられたため、今後再発防止に努めます。

カフェ「ふおらん」では、店内での利用者勤務とともに、JAIFA等の外部出店の中で、利用者と地域・社会との繋がりの強化を図りました。また、前年度に引き続き、地域公益的活動としてフードパントリーを実施し、地域共生に向けた取り組みを推進しました。

## 舎人あかしあ園

### 1. 年度方針・理念等

～一人ひとりを大切に～

一人ひとりの歴史・思い・生活・個性を大切にして、夢や希望に向けた支援を行います

### 2. 重点課題

- ・グループの特色を活かしながら、個々のニーズにあわせたサービスの提供
- ・前年度比+5%の出席率向上
- ・安全・安心な介助方法の確立、活用しやすい施設の状況に即したマニュアルの再整備
- ・地域交流を目的とした「ふおらん舎人店」の更なる活性化

### 3. 総評

本年度は、新型コロナウィルスの類型変更に伴う緩和策により従来の活動が多く実施でき、地域や学校との交流行事も増やすことができました。活動メニューも利用者の希望や選択の幅を増やし、柔軟に対応できる職員体制を構築しました。また、安全・安心な介助方法の確立のために会議での情報共有や内部研修を実施すると共に、出光美術館の助成金を活用した介護リフトの導入を行いました。

重点課題である出席率向上は、年度途中での退所等により前年度を下回ったものの、新型コロナウィルスの予防のために通所を控えられていた利用者の通所再開等もあり、徐々に向上している状況にあります。また、ふおらん舎人店の運営においては、利用者・地域の双方に向けた内容と関わり方等を整理し、不定期のイベントを行うことで集客に繋げました。

## 花畠あかしあ園

### 1. 年度方針・理念等

～らしく！たのしく！つながる”わ”～

一人ひとりが自分らしく過ごせるように地域、家族、仲間とのつながりを大切にします。

### 2. 重点課題

- ・グループ・支援体制の再編成と業務効率化の取組み
- ・地域交流、充実した活動の提供による通所目的を持って頂き出席率の向上
- ・虐待防止やリスクマネジメント及び利用者に対する権利擁護の強化

### 3. 総評

本年度は、利用者のグループ活動室や支援体制を再編し、より一層効果的で質の高いサービス提供の実践と業務効率化に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴う規制緩和に伴い、近隣の大学との交流や高齢者施設への訪問販売、地域公益活動「あいもとと便」に利用者が直接携わることができ、施設外で様々な交流が実施できました。また、夏祭りや20歳を祝う会、給食イベント等を行い、施設内の活動の充実も図りました。

外部講師を招いた虐待防止研修の実施やご家族も含めた成年後見制度の出前講座を実施しました。また、虐待防止・権利擁護の外部研修を受講した職員より共有を図り、全職員の権利擁護における意識の醸成を図りました。

## 竹の塚あかしあの杜

### 1. 年度方針・理念等

～一人ひとりにとって”価値”ある一日を～

私たちは、一日いちにちを大切に、全力で、前向きに、誠実に取り組みます

### 2. 重点課題

- ・利用者健康管理と観察力の強化、感染症対策の強化
- ・ICT機器導入等による業務効率化と効果の検証
- ・スケールメリットを活かした連携・協働体制の推進
- ・利用者の尊厳の理解浸透、及び利用者を尊重したサービス提供の教育の徹底

### 3. 総評

利用者の健康管理・観察力の強化及び急変時の対策として、救急要請訓練動画を作成・視聴し、シミュレーション訓練を11回実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、例年同様、職員のPCR検査を毎週実施すると共に、希望する利用者・職員のワクチン接種等を実施し感染防止に努めました。

前年度に導入したデジタル機器を活用し、職員の負担軽減とサービス向上に取り組みました。また、更なる働き方改革のため、東京都より新たな見守り支援機器の設置や情報共有機器の増設等の補助金交付決定を受け、導入設置を完了させました。

接遇向上に向け、接遇マナー研修を4回実施し、全職員を対象にフィードバックを行いました。

## あいのわ支援センター

### 1. 年度方針・理念等

～あなたらしく生きるために、あなたがホッとできる”場所”を目指します～

【行動指針】1.利用者本位、2.サービス向上と満足度の追求 3.品位、4.職場の雰囲づくり、5.安全第一

### 2. 重点課題

- ・あいのわ支援センターの事業全体での業務改善・収支改善
- ・居宅介護/移動支援/特定相談支援事業の業務効率化と安定化の推進
- ・共同生活援助 理念・行動指針に基づく支援の実施と情報共有の徹底
- ・短期入所事業稼働率の前年度比10%向上

### 3. 総評

本年度は、あいのわ支援センター全体の業務改善会議を定例開催し、法人本部と都度協議しながら、他施設見学や収支改善案の検討、事業の見直し等、次年度へ向けた企画策定を進めました。具体的には、給食調理委託業者の撤退等に伴い本年2月より配食サービスへ切り替えを行うとともに、本年度末の公益事業廃止、次年度からの共同生活援助及び短期入所の定員変更等、様々取り組みました。

居宅介護・移動支援については、支援の効率化に取り組み、生じたスキマ時間を活かした収支改善を進め、相談支援事業では定例会議を行い、業務効率化の効率化等を進めました。

短期入所においては、新型コロナウイルス感染症の類型変更等により、これまで利用を控えられていた方や新規利用者の利用が増え、稼働率が前年度との比較で25.4%向上しました。

## 神明障がい福祉施設

### 1. 年度方針・理念等

～いちにち一日を大切に～

利用者の自己実現を目指し、安心して通所出来るよう支援します

### 2. 重点課題

- ・階層別・分掌別等の役割に基づいた研修計画の実行による職員の支援力向上
- ・事業所間・グループ間の枠を超えた連携による安定した質の高いサービス提供と出席率向上
- ・委員会を中心とした虐待防止のための取り組み、明るく快適に過ごせる施設内環境の整備
- ・感染症及び防災に関する実践と整備の強化

### 3. 総評

利用者の方が安心してご利用いただけるよう、事業所の枠を超えて各重点課題に取り組みました。感染防止対策ではゾーニング対応等実践訓練を中心に取り組み、防災訓練では震災を想定した避難訓練や水害訓練、警察署立会いによる不審者対応訓練を実施しました。虐待防止・権利擁護の外部研修に参加した職員より伝達研修を行い、全職員が利用者の権利を尊重して支援にあたれるよう取り組みました。施設内環境の整備として、玄関ロビーに明るく温かみのある装飾を利用者とともに制作しました。近隣小・中学校のお祭りや展覧会、足立区の地域清掃への参加等、地域の一員として利用者が参加できる機会を積極的に増やし、地域の方々の理解促進に繋がる活動を行いました。次年度も引き続き、利用者が活躍できる場を提供してまいります。

## 大谷田障がい福祉施設

### 1. 年度方針・理念等

～利用者の「働く」「生活」「健康」を支援します～

### 2. 重点課題

- ・就労支援事業の効率化
- ・利用者出席率向上
- ・将来を見据えた生活に向けた支援への取り組み

### 3. 総評

足立区大谷田就労支援センターは、7月より新たに1名が利用開始となりました。一方で、就職や療養、他事業所利用等の理由で4名が退所となっています。就労継続支援B型では持病や事故の療養を理由とした欠席が増えたことで出席率が減少しましたが、生活介護では長期療養を終えた方の通所が再開したことでの出席率が増加しました。また、前年度限定の作業が終了したため、売上は減少しましたが、工賃支給利用者数の減少、算定方法の見直しの影響から平均工賃は増加しています。

足立区大谷田ホームでは2名が他事業所の利用、地域移行のため退居され、11月からは新たに1名が入居しました。通所先の施設や受託居宅事業所、主治医、関係機関と情報共有を図りながら支援を実施しました。10月に4年ぶりに開催された秋祭りに施設全体で参加し、地域の方々とお祭りを楽しみました。